



食と健康

校長 荒井 健

新しい年、令和4年が始まりました。保護者、地域の皆様におかれましては、日ごろより、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年こそ、感染症がおさまり、伸び伸びとした学校生活が送れることを心より願っています。



さて、昨年末の12月に、「原材料の輸入遅延により、フライドポテトの販売が縮小される」というニュースがあり、テレビでは、驚いた表情で「とても困る」とコメントされる方々の映像が多く流されました。フライドポテトの販売縮小が、これだけ大きなニュースとして取り上げられるところに、日本の食においてフライドポテトが占める位置や、輸入に依存する食の現状が垣間見られたと感じました。



1月24日は、給食記念日です。文部科学省のホームページには、次のように記載されています。

◎全国学校給食週間について

1月24日から1月30日までは、全国学校給食週間です

我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などによって中断されました。～中略～ 昭和22年1月から学校給食が再開されました。

～中略～ 同年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。～後略～

「食に関する指導」の重要度は、今後もさらに増していくものと考えます。本校においても、この期間に合わせて給食週間を設定し、次のように取り組みます。

○目当て

給食記念日（1月24日）を中心とした1週間を給食週間と設定することで、給食について考え、給食を食べられることや食に関わる人への感謝の気持ちをもつ。

○クラスでの取組

- ・給食に携わる人を中心に、自分たちを支えてくれている人に感謝の気持ちをもつ。
- ・感謝の気持ちを表すために、自分たちには何ができるか、何をするかなどを考える。（あいさつ・しっかり食べる・きれいに片付ける など）
- ・動画を視聴し、視聴した感想や、給食を支える人に対するメッセージなどをカードに書く。各クラス画用紙横向きにまとめる。



「食に関する指導」を通して、「体の健康」とともに感謝の気持ちをもつなど、「心の健康」の育成にもつなげていきたいと考えています。

さて、1月の献立15回分に主食が「ごはん」の日は、何回あるかご存じですか。実は、白米の「ごはん」は2回のみです。「麦ごはん」が5回、「はいがごはん」が4回となっているところにも健康重視の献立であることが分かります。ちなみにパン類は、計4回です。

今年も、食育を含め、「健康でかがやく子」をめざした取組を進めてまいります。引き続き、本校教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※よこはま学校食育財団ホームページの「食育ひろば」<https://ygs.or.jp/syokuzai/>で、「学校給食の献立やレシピ」が多数紹介されています。この機会にぜひご覧ください。